



令和5年7月5日16時00分
近畿地方整備局

ひめじこうくさいぶつりゅう

姫路港国際物流ターミナル整備事業の起工式典を開催します

(令和5年7月15日(土))

～姫路港のさらなる活性化に向けて～

姫路港において、背後地域に進出する企業や生産機能の増強を行う企業などの貨物需要の増大や船舶の大型化に対応するとともに、円滑な陸上輸送を確保することを目的として、令和3年度に「姫路港国際物流ターミナル整備事業」が新規採択されました。

この度、本事業の起工にあたり、以下のとおり起工式典を開催しますので、お知らせします。

- ◆日時：令和5年7月15日(土)11:30～ 1時間程度
(受付10:45～)
- ◆場所：アクリエひめじ 中ホール
(姫路市神屋町143-2)
- ◆主催：国土交通省近畿地方整備局、兵庫県(共催)

【取材について】

・取材される報道関係者は、別添の事前申込に記載の通り、電子メールで、事前登録を行っていただき、上記開催場所へ、開始10分前までにお越し下さい。

<申込期日：令和5年7月11日(火)17時>

<取扱い> 令和5年7月7日(金) 14時00分 解禁

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、神戸経済記者クラブ、港湾新聞社、マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス、兵庫県政記者クラブ

<問合せ先> <式典全般に関する問い合わせ>
国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾事務所
副所長 大上 龍也 (おおがみ たつや)
企画調整課長 山口 芳夫 (やまぐち よしお)
TEL：078-331-6701
<兵庫県の事業に関する問い合わせ>
兵庫県 土木部 港湾課
副課長 三木 大陸 (みき ひろむ)
TEL：078-362-3538

ひめじ こう こく さい ぶつりゅう
姫路港国際物流ターミナル整備事業
～事業概要～

事業の目的

姫路港において、背後地域に進出する企業や生産機能の増強を行う企業などの貨物需要の増大や船舶の大型化に対応するとともに、円滑な陸上輸送を確保するため、国際物流ターミナルの整備を行う。

事業の概要

【国】 岸壁(水深14m, 延長240m)、航路・泊地(水深14m, 面積 8.4ha)、
臨港道路(延長1.8km)

【兵庫県】 ふ頭用地(面積 5.9ha)、臨港道路(延長1.7km)



姫路港国際物流ターミナル整備事業 ～事業の背景と効果～

事業の背景

○新たな貨物需要の増大と慢性的渋滞による交通機能の低下

・広畑地区公共岸壁に利用が見込まれる主な企業と利用内容



企業名	取扱貨物	将来貨物量	想定最大船舶	将来寄港頻度	備考
A社	石炭	18万トン	70,000DWT (輸入)	不定期	R3年 新ブランド稼働
	化学薬品等	調整中	調整中	調整中	コンテナ貨物
B社	化学薬品	調整中	調整中	調整中	コンテナ貨物
C社	原塩(工業)	44万トン	1,500DWT (移出)	97回/年	公共ふ頭への移転を計画
			60,000DWT (輸入)	8回/年	
D社	原塩(食用)	1~1.3万トン	15,000DWT (輸入)	1回/年	
E社	木質チップ, PKS	43万トン	50,000DWT (チップ輸入)	輸入チップ:7回/年 PKS:14回/年 移入チップ:13回/年	R5年 本格稼働
			PKS: 10,000DWT (輸入) 1,500DWT (チップ移入)		
F社	建設資材	27.5万トン	50,000DWT	7回/年	用地取得済
		27.5万トン	2,000DWT	250回/年	
G社	鉄鋼用莹石	7万トン	輸入:50,000DWT	輸入:2回/年	現状6.4万トン 現状より3割増を取り扱う予定 輸入量に応じて増加予定
		2.8万トン	輸出:5,000DWT		
	4.2万トン	移出:2,000DWT	輸出・移出:20~30回/年		
化学用莹石	5~10万トン	50,000DWT (輸入)	2~5回/年	取扱予定	
	5~10万トン	2,000DWT (移出)	30~60回/年		
H社	船舶用エンジン	4.5万トン	1,500 DWT	90回/年	H30年8月 工場稼働

・国道250号線など姫路港広畑地区周辺の道路は慢性的な渋滞が発生



事業の効果

○地域産業の振興、背後企業の新規立地・投資の促進

- ・原塩等の原料やエネルギー関連(バイオマス燃料)貨物の輸送の効率化により、**企業の競争力が向上、製品価格の低下にも寄与**。
- ・港湾関連車両の円滑な輸送が可能となることで、**製品入出荷の定時性確保等に繋がり、競争力強化や周辺道路を通行する一般車の渋滞緩和にも寄与する**。
- ・姫路港の利便性向上により、**更なる新規立地の促進が期待**。

○脱炭素化・カーボンニュートラルへの寄与

- ・**バイオマス発電燃料の輸送効率化**が図られ、バイオマス発電所への安定的な燃料供給がなされることで、**脱炭素化・カーボンニュートラルに寄与**。
- ・陸上輸送距離の短縮、海上輸送回数の減少により、**自動車のCO2、船舶のNOx排出量が減少**。